



ひなどり

園だより 4月号

令和4年4月6日

新潟市立新津第三幼稚園

「チューリップのお話」

園長 川合 千尋

あたたかな日差しの中で、春の花が咲いて、新津第三幼稚園が、新しい園児を迎え、43名で令和4年度をスタートしたことを応援してくれているようです。

春を彩る花と言えば、「チューリップ」ですね。そういえば新潟市の花は「チューリップ」です。これからの季節、色とりどり咲いてきれいですね。ところで、チューリップの花びらは何枚あるでしょう？一般的によく見られるものを見ると花びらが6枚あるように見えます。実は、3枚が花びらで、3枚はそれを支える「がく」なのだそうです。「がく」はアサガオやヒマワリにもありますが、緑色で花びらとは明らかに違いますが、チューリップのそれは色がついて見分けがつかなくなるのだそうです。つぼみの頃によく見ると外側の3枚は「がく」というのは分かります。

そもそも今見ることができる色とりどりの花は、もともとは葉っぱから形を変えて進化したと言われていています。若い葉が外界の刺激を受けて、様々に形や色を変え、長い時間をかけて進化したと考えれば、葉っぱのような緑色の「がく」が花びらのようにになっているのも納得できます。植物の世界では、1億年、2億年もの長い長い時間の中で見ると若い葉は刺激に敏感で、その反応も豊かに変化していくと考えられます。

幼い子どもたちも、きっと、大人の私たち以上に見るもの、聞くもの、感じるものにとっても敏感で、成長する上でそれがたくさんの変化をもたらしていることなのでしょう。だからこそ、この時期にいろいろなことに触れて、感じて、体験してほしいなあと思います。そして、大きく個性豊かに、まさに色とりどりに成長をしてほしいと願っています。そんな成長に寄り添えることは、私たちにとってこの上ない喜びでもあります。

一人一人の子どもたちが元気に豊かにそれぞれのきれいな花を咲かせることができることを願いながら今年度も職員みんなで力を合わせていきます。どうぞ、よろしくお願いします。

